

第2回学校教育推進会議だより

令和6年10月10日

川崎市立稲田小学校

校長 青木 あゆ子

【次第】 9月26日（木） 10：30～

校長室にて

- 1.開会の言葉（教務）
- 2.児童会の取り組みについて
（運営委員会児童）
- 3.いじめの防止研修について
（支援教育コーディネーター）
- 4.懇談
 - （1）教育委員会あいさつ（教育政策室）
 - （2）校長あいさつ（校長）
 - ・前回の台風の対応について
 - ・学校評価アンケートの結果について
 - （3）令和6年川崎市学習状況調査及び
全国学力・学習状況調査結果報告
（教務）
 - （4）研究について（教務）
 - （5）情報交換
- 5.閉会の言葉（教頭）

【学校教育推進会議委員】

校長 教頭 PTA会長 PTA副会長
宿河原町会長 多摩新町町会長
長尾町会長 教育後援会会長
教育後援会顧問 子ども会会長
長尾子ども文化センター所長
学校医代表 主任児童委員（2名）
児童会担当 教務主任
支援教育コーディネーター



吹く風に秋の気配を感じられるようになった9月26日（木）、地域やPTAの方々をお迎えして令和6年度第2回学校教育推進会議が開催されました。

今回は7名の方々が出席され、運営委員会の子どもたちが、これまでの児童会の活動について発表し、学校からは6月以降の稲田小学校の子どもたちの様子を中心に報告しました。その後、学校におけるいじめ防止の取り組みなどについて情報交換を行いました。情報交換の場では、今後の本校の学校運営上、参考になる貴重なご意見をたくさんいただきました。

運営委員会の5・6年生が、プレゼンテーションアプリを使って、前期までの児童会の活動について報告しました。

本校の今年のスローガンは「進んでチャレンジ」です。「かわさき TEKTEK」や「開校145周年」の取り組みなどについて、とても分かりやすく発表しました。

委員の皆様からは、熱心に説明する子どもたちの様子を見て、温かい励ましのお言葉や貴重な助言をいただきました。



＜裏面に続きます＞

＜推進委員の皆様からいただいたご意見・ご感想＞

(1) 運営委員会の児童の発表を聞いて

- ・子どもたちの発表を聞いて、新しいことに前向きに取り組んでいる様子がよく伝わってきました。
- ・委員会活動では、自分たちの発信の仕方が不十分で、他の委員会との連携に課題があるとのことでした。さらによりよい活動にするために課題をもち、改善していこうとする前向きな姿勢が素晴らしいと思いました。

(2) 情報交換から

- ・GIGA 端末が急速に学校に普及していることには驚いています。高学年になるにつれて、着実にできることが増えてきているようなので、情報モラル教育を継続的に進めていくことが大切であると感じました。
- ・稲田小学校でのいじめ防止研修についての説明を聞き、いじめを防止するための具体的な取り組みがよく分かりました。この研修の内容を先生方だけではなく、保護者や地域の方々にも発信していくことができればもっとよいと思いました。
- ・朝、遅れて登校する児童は気になりますが、早く登校し過ぎる児童が一定数いることも気になりました。家庭の状況は様々だとは思いますが、教員の働き方改革とのバランスも考慮しながら、登校時間外に登校する児童については、児童の安全に配慮し、登校渋り等につながっていくことのないよう、気にかけておく必要があると思いました。
- ・保護者の代表として、初めてこの会議に出席しました。子どもたちのために、実に様々な取り組みをしていることがよく分かりました。他の保護者の皆様にもぜひ知ってもらいたいと思ったので、学校からこの会議の内容について積極的に発信していただきたいと思いました。

来年度から学校運営協議会制度を取り入れます

これからの学校は「開かれた学校」から一歩踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが求められています。

地域とともにある学校づくりを推進するため、学校運営及びその運営に必要な支援について協議する会議として、来年度からは、従来の「学校教育推進会議」の機能をさらに拡充し、教育委員会も参加する形の「**学校運営協議会**」へと改変することになりました。

